

## 令和6年度アンケート（抜粋）

### 1. 今回の研修は有益でしたか。

- 原爆被爆者の健康管理および放射線が人体に及ぼす影響について、より詳細に経験できた。
- 原爆の壊滅的な影響と、それがいかに多くの人々に影響を与え続けているかについて多くを学びました。
- 原爆被爆者の実体験や、被爆者達をサポートするための行政、法律的なことまで学ぶことができ非常に良い研修だったと思います。
- 放射能の危険性、被害回復の時間と費用がいかに莫大なものか調査資料を通じて理解した。

### 2. この研修で得た知識、または技術を実際にどのように利用するつもりか説明してください。

- 韓国で被ばく患者を診る機会があれば、よりきめ細かく理解しケアできると思う。低線量被ばくと癌との相関について動物実験モデルの構築を考えてみたい。
- 放射線被ばくに対する警戒心を常に持つ重要性を理解した。周囲の人にも伝え、韓国での災害体系を把握し改善すべき点があれば意見を述べたい。
- 日本の DMAT チームの経験をもっと共有し、より多くの放射能防災訓練の実施が必要だと考えます。研修でいただいた資料を基に、訓練でその知見を多方面に活かせるよう工夫します。

### 3. HICARE の事業をより改善するために、今回の研修に関するあなたのご意見をお聞かせください。カリキュラムや期間、その他について。

- カリキュラム、期間とも大変良かった。
- 講義で重複内容があり集中力が落ちる事があった。また韓国人被爆者の現況について、より詳しい情報を知りたいと思いました。
- 原子力災害への備え方に関する研修を行った事は大変重要でした。除染と災害訓練についてもっと学びたいです。
- 医療関係者のみを対象にするなど、同一職種を対象にした研修が望ましい。

### 4. 広島での滞在について

#### (1) 広島での生活にどのような印象を持たれたか教えてください。

- 街がきれいで人も親切、食べ物もおいしかった。
- 被爆から約 80 年だが歴史を忘れず記録し研究を続ける努力に驚きました。
- 広島の歴史とその復興について学ぶだけでなく、人々の生活からも復興精神を直に感じることができ、貴重な体験となりました。

#### (2) 広島での滞在中、日常生活で不便を感じたことがあれば教えてください。

- 特に不便はありませんでしたが、蒸し暑さにはまいりました。
- スタッフの尽力のおかげで、すべて順調で快適な研修でした。

### 5. 研修を終えて感じたこと

- 配布資料はデジタルで渡して欲しいです。書類管理、携行は大変です。
- こうした研修は積極的に勧めたいですし、その結果は多くの人に共有されるべきです。
- 多忙な時間を割いて講義して下さった講師の方に深く感謝します。